



平成27年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年3月31日

上場会社名 イーサポートリンク株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2493 URL http://www.e-supportlink.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 信介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 仲村 淳 TEL 03-5979-0784
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第1四半期の連結業績（平成26年12月1日～平成27年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第1四半期	1,065	2.8	141	△6.6	152	△3.1	73	△16.3
26年11月期第1四半期	1,036	2.7	151	5.4	156	9.3	87	8.6

(注) 包括利益 27年11月期第1四半期 81百万円 (△8.6%) 26年11月期第1四半期 88百万円 (7.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第1四半期	16.57	—
26年11月期第1四半期	19.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年11月期第1四半期	4,912	3,144	64.0
26年11月期	5,211	3,059	58.7

(参考) 自己資本 27年11月期第1四半期 3,144百万円 26年11月期 3,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年11月期	—	—	—	—	—
27年11月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年11月期の連結業績予想（平成26年12月1日～平成27年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,209	1.1	220	△38.0	214	△40.7	122	△34.9	27.79
通期	4,647	4.7	448	△35.0	435	△37.1	250	△25.2	56.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年11月期1Q	4,424,800株	26年11月期	4,424,800株
② 期末自己株式数	27年11月期1Q	149株	26年11月期	91株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年11月期1Q	4,424,675株	26年11月期1Q	4,424,763株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に弱さがみられるものの、企業収益や雇用情勢に改善の動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

生鮮青果物流通業界では小売業の食料品販売額が好調に推移し、情報サービス業界ではIT関連投資が増加傾向で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、効率的な営業活動を実施するとともに、イーサポートリンクシステムVer.2の開発、生鮮MDシステムの導入拡大、研究開発活動に努めてまいりました。

以上の結果、生鮮MDシステムの利用料が増加したものの、運用保守費や人件費などが増加したことにより、売上高は10億65百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益1億41百万円（同6.6%減）、経常利益1億52百万円（同3.1%減）、四半期純利益73百万円（同16.3%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(システム事業)

輸入青果物サプライチェーン向けに提供するイーサポートリンクシステムにおきましては、現行システムの安定運用の継続と、イーサポートリンクシステムVer.2の開発を進めてまいりました。大手量販店デマンドチェーン向けに提供する生鮮MDシステムにおきましては、データ件数が順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は5億87百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益は2億63百万円（同4.0%増）となりました。

(業務受託事業)

輸入青果物サプライチェーンの流通合理化を図るため、生産性の向上と業務の安定運用の継続に加え、業務の付加価値を高める取り組みを進めてまいりました。

以上の結果、売上高は4億44百万円（前年同期比1.8%減）、セグメント利益は1億61百万円（同8.1%減）となりました。

(農産物販売事業)

収益力の改善に向けて、新規販売先の開拓、集荷数及び販売数の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は33百万円（前年同期比26.9%増）、セグメント損失は2百万円（前年同期はセグメント損失5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末と比べて2億99百万円減少し、49億12百万円（前連結会計年度末比5.7%減）となりました。

内訳としては、流動資産が29億35百万円（同8.4%減）、固定資産が19億73百万円（同1.6%減）、繰延資産が3百万円（同7.4%減）となりました。

流動資産の主な減少要因は、仕掛品が20百万円増加した一方、現金及び預金が2億77百万円減少したことによるものです。

固定資産の主な減少要因は、ソフトウェアが13百万円減少したことによるものです。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末と比べて3億84百万円減少し、17億67百万円（同17.9%減）となりました。

内訳としては、流動負債が8億94百万円（同26.5%減）、固定負債が8億72百万円（同6.6%減）となりました。

流動負債の主な減少要因は、未払法人税等が1億43百万円、短期借入金が40百万円減少したことによるものです。

固定負債の主な減少要因は、社債が20百万円、長期借入金が29百万円減少したことによるものです。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べて84百万円増加し、31億44百万円（同2.8%増）となりました。

この結果、自己資本比率は64.0%となりました。

その主な増加要因は、四半期純利益を73百万円計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年1月14日の「平成26年11月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を、割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に基づき決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が3,776千円減少し、利益剰余金が3,776千円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,311,201	2,034,042
売掛金	419,273	382,923
有価証券	199,945	199,947
商品及び製品	3,330	2,263
仕掛品	27,113	47,404
原材料及び貯蔵品	6,415	6,254
その他	236,541	262,696
貸倒引当金	△646	△397
流動資産合計	3,203,174	2,935,135
固定資産		
有形固定資産	378,307	362,480
無形固定資産		
ソフトウェア	84,934	71,231
ソフトウェア仮勘定	1,186,789	1,189,810
その他	7,946	6,244
無形固定資産合計	1,279,670	1,267,286
投資その他の資産		
その他	410,145	407,101
貸倒引当金	△63,089	△63,089
投資その他の資産合計	347,056	344,012
固定資産合計	2,005,033	1,973,779
繰延資産	3,645	3,376
資産合計	5,211,853	4,912,290
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,803	2,024
短期借入金	150,000	110,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	119,992	119,992
未払法人税等	225,666	82,288
賞与引当金	-	64,231
その他	657,764	456,375
流動負債合計	1,217,227	894,911
固定負債		
社債	160,000	140,000
長期借入金	208,352	178,354
退職給付に係る負債	384,692	388,536
資産除去債務	42,882	43,027
その他	138,822	122,818
固定負債合計	934,749	872,736
負債合計	2,151,976	1,767,647

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,721,514	2,721,514
資本剰余金	620,675	620,675
利益剰余金	△229,200	△152,120
自己株式	△231	△375
株主資本合計	3,112,757	3,189,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,225	11,740
退職給付に係る調整累計額	△58,105	△56,791
その他の包括利益累計額合計	△52,880	△45,051
純資産合計	3,059,877	3,144,642
負債純資産合計	5,211,853	4,912,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)
売上高	1,036,557	1,065,704
売上原価	436,152	471,298
売上総利益	600,405	594,406
販売費及び一般管理費	448,515	452,584
営業利益	151,889	141,821
営業外収益		
受取利息	274	253
投資事業組合運用益	9,559	12,240
その他	147	1,310
営業外収益合計	9,982	13,805
営業外費用		
支払利息	3,609	2,721
その他	1,346	800
営業外費用合計	4,956	3,521
経常利益	156,915	152,105
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
減損損失	511	1,240
その他	80	—
特別損失合計	591	1,240
税金等調整前四半期純利益	156,323	150,865
法人税等	68,759	77,562
少数株主損益調整前四半期純利益	87,563	73,303
四半期純利益	87,563	73,303

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	87,563	73,303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,183	6,515
退職給付に係る調整額	—	1,313
その他の包括利益合計	1,183	7,829
四半期包括利益	88,747	81,132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,747	81,132

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム 事業	業務受託 事業	農産物販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	557,585	452,734	26,237	1,036,557	—	1,036,557
セグメント間の内部 売上高又は振替高	982	2,114	5,537	8,634	△8,634	—
計	558,568	454,849	31,775	1,045,192	△8,634	1,036,557
セグメント利益又は 損失(△)	253,689	176,180	△5,390	424,479	△272,590	151,889

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△272,590千円には、セグメント間取引消去3,389千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△275,979千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年12月1日 至 平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム 事業	業務受託 事業	農産物販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	587,893	444,518	33,292	1,065,704	—	1,065,704
セグメント間の内部 売上高又は振替高	898	2,093	6,851	9,843	△9,843	—
計	588,791	446,611	40,144	1,075,547	△9,843	1,065,704
セグメント利益又は 損失(△)	263,839	161,900	△2,724	423,015	△281,193	141,821

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△281,193千円には、セグメント間取引消去3,389千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△284,582千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。